




Table of Contents

1	エンコーダーとスイッチ	Page 1
2	フットスイッチとLED	2
3	エクスプレッション入力	3
4	TAPテンポ入力	3
5	プリセットの保存	4
6	オプション	4
7	Globals (グローバル設定)	5
8	アルゴリズム	6-8
9	エクスプレッション / ランピングの設定	9
10	ファクトリー・リセット	10

1. エンコーダーとスイッチ

 各エンコーダーは、スイッチとしても使用します。



各スイッチ&ノブの、主な動作です。詳細は、各チャプターを参照ください。



エンコーダー (knob) 1, 2, 3

- 回す - Primaryパラメーターの調整
- 押す - エクスプレッションの設定
- 長押し - エクスプレッションのヒール/トゥ設定
- 押し回す - Secondaryパラメーターの調整

エンコーダー (knob) 4

- 回す - Modes (ディレイのモード) 選択
- 押す - OPTIONS メニューに入る
- 長押し - GLOBALS メニューに入る
- 押し回す - Secondaryパラメーターの調整

Modes	Primary パラメーター			Secondary パラメーター		
	knob 1	knob 2	knob 3	knob 1	knob 2	knob 3
ENVELOPE FILTER	Sensitivity	Range	Mix	Up/Down	Q	Filter Type
STEP FILTER	Speed	Step Edit	Mix	Step size	Range	Filter Type
MANUAL FILTER	Frequency	Range	Mix	Taper	Q	Filter Type

2. フットスイッチとLED

ENGAGE / RAMP スイッチ

- 押す**
-> エフェクトのON / OFF
- 長押し (バイパス時) > 500 ms**
-> モメンタリー
(押している間のみエフェクトがON)
- 長押し (エフェクトON時) > 500 ms**
-> ランピング機能ON



TEMPO LED

A/B - TAP スイッチ

- 1回押す**
-> プリセットAとBの切り替え
- 1秒以上、長押し**
-> テンポ入力モード: LEDの点滅が止まると、新しいテンポ入力が可能になります。
- ※ TAPテンポ入力は、Step Filter モードのみ使用可能。

ON/OFF LED

PRESET LED

Orange: プリセット A / Green: プリセット B

■ モメンタリー機能

バイパス時に、ENGAGE / RAMPスイッチを0.5秒以上長押しすると、押している間だけエフェクトがONになります。フットスイッチを離すと、バイパスに戻ります。

■ ランピング機能

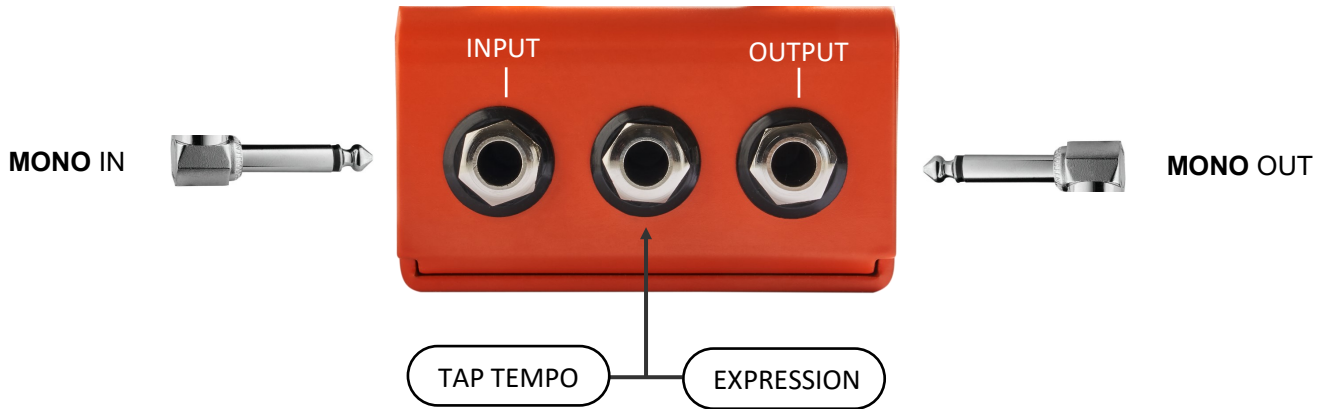
エフェクトON時に、ENGAGE / RAMPスイッチを0.5秒以上長押しすると、押している間だけ指定されたパラメーターが、設定された最大値まで上昇します。フットスイッチを離すと、元の値に戻ります。



A/B - TAPフットスイッチのプライオリティ (優先設定)

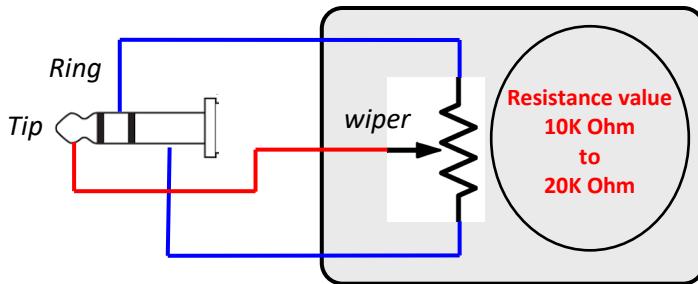
プリセットA/Bの切り替え、またはTAPいずれを優先するかの設定は、Globalsで設定できます。(6ページ参照)

USER MANUAL



3. エクスプレッション入力

エクスプレッション・ペダルを使用して、プライマリー・コントロールのパラメーターを1つコントロールできます。TAPテンポを使用する場合も、この端子を使用します。

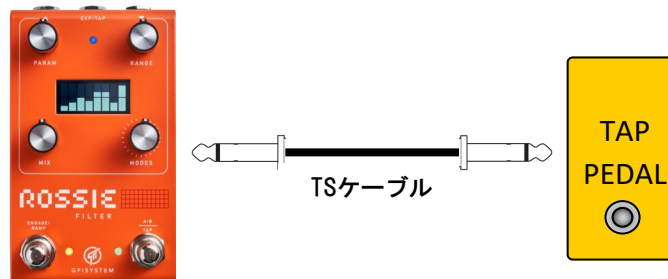


エクスプレッションペダルの仕様

ROSSIEで使用するエクスプレッション・ペダルは、ワイパー（wiper）がTipに接続されている必要があります。市販のエクスプレッション・ペダルには、ワイパー（wiper）がリングに接続されているものもあります。左の図を参考に、Wiper-to-Tip仕様であることをご確認ください。エクスプレッション・ペダルの推奨抵抗値は、10～25 kΩです

4. TAPテンポ入力

TAPテンポ用のペダルを、EXP/TAP端子に接続します。スイッチは、ノーマリー・オープン（N.O）の物をご使用ください。



👉 エクスプレッションの自動検知

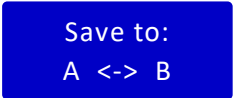
ORCAは、電源投入時にエクスプレッション・ペダルまたはTAPスイッチの接続 / 非接続を自動検知します。外部ペダルを変更した場合は、電源を一度 ON / OFFして再検知してください。

5. プリセットの保存



① 両フットスイッチを長押し

↓
このように表示されたらスイッチを離す



↓
② プリセットAに保存するには左フットスイッチを、
プリセットBに保存するには右フットスイッチを押す

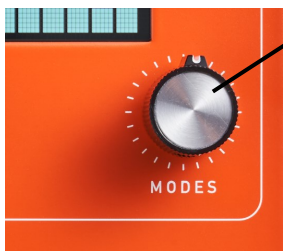
👉 プリセットの保存画面に入った後、保存をキャンセルしたい場合：

- ・ 両フットスイッチを再度2秒以上長押し

または

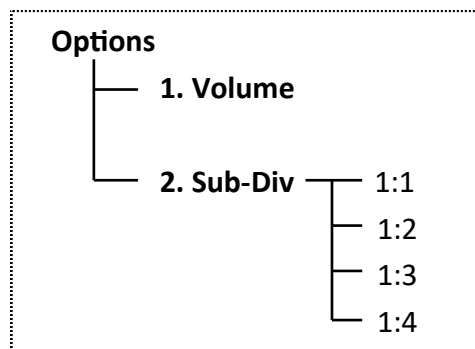
- ・ 何もせず5秒待つ（自動的にメイン画面に戻ります）

6. オプション オプションは、プリセット毎に指定します。



MODES を押してオプションメニューに入ります。

MODES エンコーダーを回して、メニュー内を操作します。

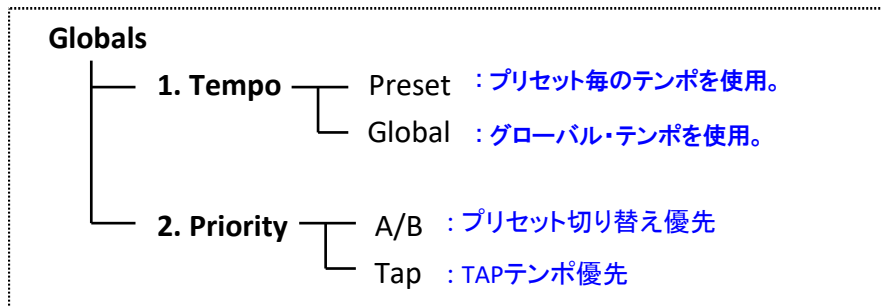



7. Globals(グローバル設定)



MODESボタンを2秒間長押しすると、Globalsメニューに入ります。

MODESエンコーダーを使用して、メニュー内を操作します。



 Priority(プライオリティー)は、A/B-Tap スwitchの動作を設定します。

Priorityを「A/B」に設定する

- A/B-Tapフットスイッチを押して、プリセットA または Bを選択する。
- A/B-Tapフットスイッチを1秒間長押しすると、TAPテンポ入力モードに入ります。2秒間フットスイッチへ操作が無いと、プリセット変更モードに戻ります。

Priorityを「Tap-Tempo」に設定する(デフォルト設定)

- A/B-Tapフットスイッチを押すと、新しいテンポ入力を開始する。
- A/B-Tapフットスイッチを1秒間長押しして、プリセットA または Bを選択する。

8. アルゴリズム

8.1 エンベロープ・フィルター

ピッキングの強さ（信号のダイナミクス）に反応する、フィルターです。フィルターのスイープ方向は、UP（スタンダードなエンベロープ・フィルター）、またはDOWNに設定できます。

フィルターの種類も幅広く、以下の4種類から選択できます：

lowpass, bandpass, highpass, peaking.

エンコーダーの働き

■ PARAM エンコーダー

エンベロープの感度を調整。

ギター（ピックアップ）の出力が高い場合は低めの設定値に、出力が高い場合は高めの設定値にすると有効です。

■ RANGE エンコーダー

スイープする周波数のレンジを設定。

■ MIX エンコーダー

エフェクトの、WET と DRY のバランスを調整。

Secondaryパラメーター

スイープの方向:

- Up
- Down

Q (フィルターの効く幅)

- Low
- Medium
- High
- Sharp

フィルターの種類:

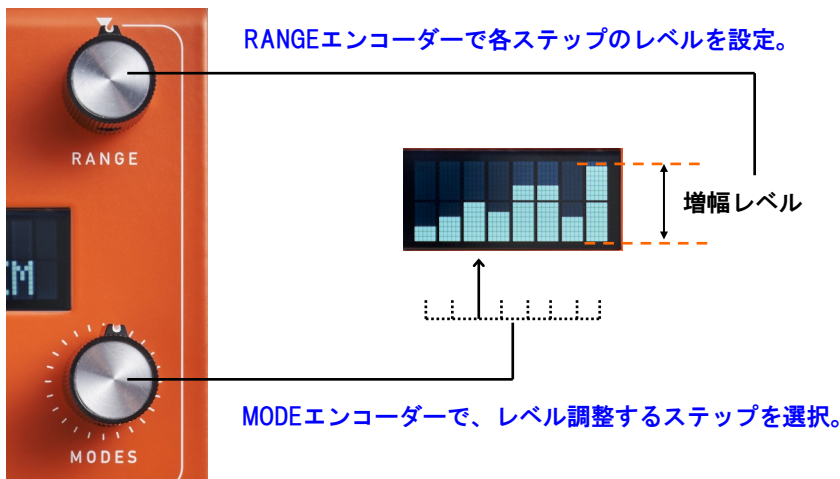
- Lowpass
- Bandpass
- Highpass
- Peaking

※ 高い設定の方が、効果が明確に聞こえます。

8. アルゴリズム

8.2 ステップ・フィルター

レゾナンス周波数がアルペジオのようなステップで連続再生される、ダイナミックフィルターです。ステップ数は4~8の間から選択でき、それぞれのレベルも個別に設定できます。ステップの再生スピードは、TAPテンポ入力が可能。このTAPテンポも、4種の符割りから選択できます。



■ PARAM エンコーダー

ステップ（アルペジオ）のテンポを調整。

■ RANGE エンコーダー

各ステップのレベルを調整。

■ MIX エンコーダー

エフェクトの、WET と DRY のバランスを調整。

Secondaryパラメーター

ステップ数：

- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- Random

Range（レンジ）

周波数スイープの範囲を設定。

フィルターの種類：

- Lowpass
- Bandpass
- Highpass
- Peaking



ステップ数を「Random」に設定すると、ステップの数は「8」に固定されます。各ステップのレベルはランダムに設定され、ハネるような効果が得られます。

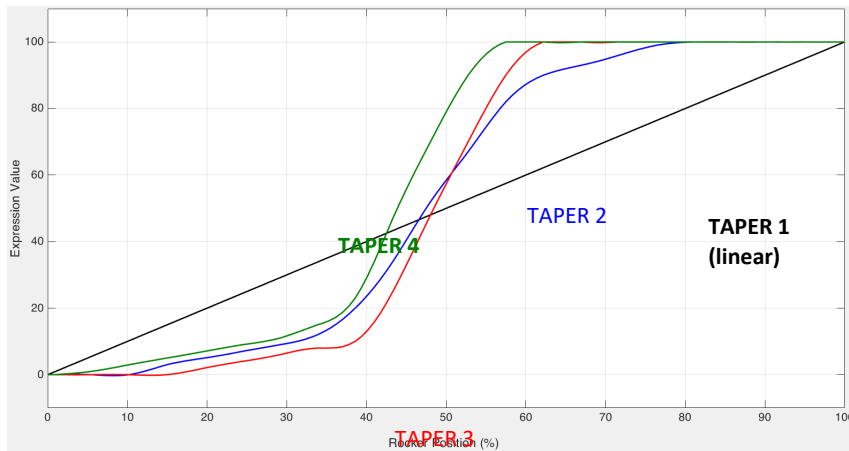
8. アルゴリズム

8.3 マニュアル・フィルター

エンコーダーやEXPペダルを使用して、レゾナンス周波数をマニュアルでコントロールするモード。

Rossie を ワウペダルとして使用する

- 周波数のパラメーター（Paramエンコーダー）を、エクスプレッションペダルにマッピングする。
- Heel（ヒール）とToe（トゥ）の値をセット。
- フィルターを Lowpass または Bandpassに設定する。
- 好みの Taper を選択する。



ワウペダルは、そのポテンションメーター（可変抵抗）によって、ペダルを上下した時のサウンドの変化やキャラクターが決まります。

Rossie には4種のTaper（ポテンションメーター）搭載されています。好みのタイプを選択してください。

■ PARAM エンコーダー

変化させる、フィルターの周波数を設定。

■ RANGE エンコーダー

各ステップのレベルを調整。

■ MIX エンコーダー

エフェクトの、WET と DRY のバランスを調整。

Secondaryパラメーター

Taper:

- Taper 1
- Taper 2
- Taper 3
- Taper 4

Q (フィルターの効く幅)

- Low
- Medium
- High
- Sharp

フィルターの種類:

- Lowpass
- Bandpass
- Highpass
- Peaking

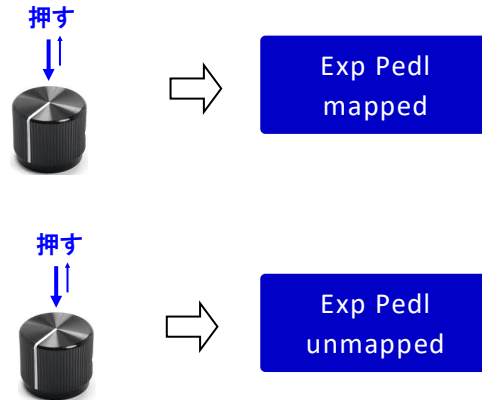
※ 高い設定の方が効果が明確に聞こえます。

9. エクスプレッション / ランピングの設定

最大3つのPrimaryパラメーターが、エクスプレッション / ランピング設定できます。

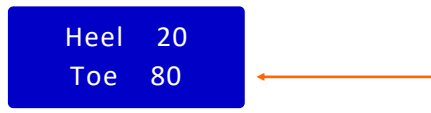


エンコーダーを押して、マッピングをオンにします。



エクスプレッション(またはランピング機能)のHeel / Toe値を設定
設定方法:

- エンコーダーを回してHeel(ヒール / 最小)値を設定します。
エンコーダーを長押しすると、2秒後に下図のように表示されます。
そのまま長押しを続けてください。



- エンコーダーを押したまま回し、Toe(トゥ / 最大)値を設定します。
設定が決まったら、エンコーダーを放してください。

これでパラメーターの最大 / 最小値の設定が完了しました。
エクスプレッション・ペダルを動かすことで、Heel / Toeの設定範囲内で操作できます。



☞ ランピング機能ではToeの設定値が、オンにした時に上昇する最大値になります。

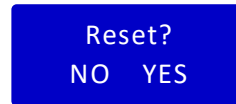
☞ Heel / Toe の設定値は、各プリセットに自動保存されます。

10. ファクトリー・リセット



MODESエンコーダーを長押ししながら電源を投入します。

右図のように表示されるまで長押しを続けます。



MODESエンコーダーを回して、NoかYesを選択します。(MODESエンコーダーを押す)
 Yesを選択するとファクトリー・リセットが開始されます。

スペシフィケーション：

- Input impedance : 1 MOhm.
- Output impedance : 1K Ohm.
- DAC / ADC resolution : 24 bits.
- Current consumption : ~110 mA.
- 重量: 0.6 Kg (1.6 lbs).
- 寸法 : 12 (L) x 7.2 (W) x 5.5 (H) cm
- Power source : 9VDC (センターマイナス) ※ 別売

製品特徴：

- 2プリセット
- 3つのフィルター・アルゴリズム。
- モノラル / ステレオ入出力
- エクスプレッション / TAPテンポ コントロール用外部ペダルに対応
- スイッチを踏んでいる間だけオンになるモメンタリー機能に対応。